

【 解説 】

アルファベットが 1 文字ずつ暗号化されているが, その暗号に使用されている文字が「0・1」の 2 種類だけなので, 2 進法が関連しているのではないかと予想される。

近接している部分 (D~G) に注目して 10 進法に変換すると決まりが見えてくる。

平文	暗号 (2 進法)	10 進法
A		35
B	:	34
C	100001	33
D	100000	32
E	11111	31
F	11110	30
G	11101	29
H	11100	28
:	:	:

注目の赤い矢印は D 行を指している。

10 進法の数と平文のアルファベットを表にまとめると,

35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z

この法則によると,

暗号 (2 進法) 「100001, 100011, 10000」 →10 進法 「33, 35, 16」

→前表の赤文字部分 「C A T」。